

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	熊本保健科学大学
設置者名	学校法人 銀杏学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部等 共通 科目	専門 科目	合計		
保健科学部	医学検査学科	夜・通信	—	—	16	16	13	
	看護学科	夜・通信			17	17	13	
	リハビリテーション学科 (理学療法学専攻)	夜・通信			19	19	13	
	リハビリテーション学科 (作業療法学専攻)	夜・通信			15	15	13	
	リハビリテーション学科 (言語聴覚学専攻)	夜・通信			25	25	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

・ ホームページ https://www.kumamoto-hsu.ac.jp/student-guardian/syllabus.html ・ Web ポータルシステム「Active Academy」：学生・教職員へIDを付与 ※電子シラバス「実務経験のある教員を含む科目」で当該科目の一覧を表示する。 さらに一覧から科目を指定すれば詳細を確認することができる。

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名該当なし
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	熊本保健科学大学
設置者名	学校法人 銀杏学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

・ホームページ <https://www.kumamoto-hsu.ac.jp/data/member.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	社会福祉法人恩賜財団 済生会支部熊本県済生 会支部長	令和7年6 月18日より 令和9年度 定時評議員 会終了時ま で	組織運営体制及び 学園経営に対する チェック機能及び 提言
非常勤	熊本県医師会会長	令和7年6 月18日より 令和9年度 定時評議員 会終了時ま で	組織運営体制及び 学園経営に対する チェック機能及び 提言
(備考) 学外者5名のうち2名を記載			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	熊本保健科学大学
設置者名	学校法人 銀杏学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
【授業計画書（シラバス）の作成過程】 学務課より、次年度の科目責任担当教員へ作成を依頼する。 これを受け、教員は「シラバスセルフチェックシート」を参照しながら記載事項の要件を満たすよう作成する。 【授業計画書の作成・公表時期】 ・1月下旬～2月中旬：シラバス作成（科目責任担当教員） ・2月中旬～3月下旬：シラバスチェック（教務委員）、修正（科目責任担当教員） ・4月～：公表 ※遠隔授業等の実施により、授業の内容・形態が当初の計画から変更した場合は、適宜学生に周知する。	
授業計画書の公表方法	・ ホームページ https://www.kumamoto-hsu.ac.jp/student-guardian/syllabus.html ・ Web ポータルシステム「Active Academy」：学生・教職員へIDを付与
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

学修規程に基づき、シラバスに示す成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に単位授与又は履修認定を行っている。

なお、科目の学修成果は、授業内容・形態に応じて、筆記試験、実技試験、レポート、授業への参加状況、実習記録などを用いて多面的に評価している。

成績評価の方法は、当該科目の各評価手段の比率、個別到達目標ごとの評価比率をシラバスに示し、厳正に適用している。また、学外実習や「基礎セミナー」「卒業研究」をはじめとする一部の科目において、ルーブリック評価法を導入している。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

【GPA等の客観的な指標の具体的な内容(指標の算出方法など)】

科目の成績を一定の数値に換算し(下表参照)、その数値の平均を算出している。

	評点 (100点満点)	評価	GP	評価の説明	備考
合格	90点以上	AA	4	一般目標を十分に達成し、きわめて優秀な成果をおさめている	
	89点～80点	A	3	一般目標を十分に達成している	
	79点～70点	B	2	一般目標を達成している	
	69点～60点	C	1	一般目標を最低限度達成している	
	認定	N	対象外		他大学等において取得した単位を、本学の単位として認めた科目
不合格	59点以下	D	0	一般目標を達成していないのでさらに勉強が必要である	
	無資格	M	0		未履修(出席日数不足)

【客観的な指標の適切な実施状況】

各学生の履修科目の成績に基づき、上表のとおり、あらかじめ設定した算出方法によりGPAを算出している。

客観的な指標の 算出方法の公表方法	・ ホームページ https://www.kumamoto-hsu.ac.jp/data/disclosure/disclosure_02.html ・ 学生便覧：学生へは入学時に配布 ・ Web ポータルシステム「Active Academy」：学生・教職員へ ID を付与
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 【卒業の認定に関する方針の具体的な内容】 <u>保健科学部卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）</u> 本学が掲げる知識・技術・思慮・仁愛の四綱領と基本理念のもと、教育目標・教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）に沿った授業科目を履修し、保健科学に係る以下の基礎的素養を身につけ、各学科・専攻所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定し、「学士」の学位を授与します。 1. 仁愛に満ちた共感的態度 ・ 命の尊さを理解するとともに、自他の人格を尊重すること、人を思いやることができる。 2. 健康を支える知識・技術と連携協働 ・ 保健医療の専門的な知識と技術を備え、多様な人々と連携協働することができる。 3. 課題探求力と問題解決力 ・ 科学的な思考力と判断力を備えるとともに、人間と社会を取り巻く種々の問題を認識し、広い視野から主体的に課題探求及び問題解決ができる。 4. 豊かなコミュニケーション力 ・ 多様な価値観を尊重し、他者との豊かな信頼関係を築くコミュニケーションができる。 5. 情報活用力・論理的思考力・自己表現力 ・ 適切に情報を収集・活用して、母語及び国際的に通用する言語で自らの考えを表現し、伝えることができる。 【卒業の認定に関する方針の適切な実施状況】 学則に則り、所定の授業科目を履修し、所定の単位を取得した者については、教授会の議を経て学長が卒業を認定している。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	・ ホームページ https://www.kumamoto-hsu.ac.jp/about/policy.html ・ 学生便覧：学生へは入学時に配布 ・ Web ポータルシステム「Active Academy」：学生・教職員へ ID を付与

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	熊本保健科学大学
設置者名	学校法人 銀杏学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ https://www.kumamoto-hsu.ac.jp/data/disclosure/disclosure_06.html
収支計算書又は損益計算書	ホームページ https://www.kumamoto-hsu.ac.jp/data/disclosure/disclosure_06.html
財産目録	ホームページ https://www.kumamoto-hsu.ac.jp/data/disclosure/disclosure_06.html
事業報告書	ホームページ https://www.kumamoto-hsu.ac.jp/data/disclosure/disclosure_06.html
監事による監査報告(書)	ホームページ https://www.kumamoto-hsu.ac.jp/data/disclosure/disclosure_06.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:	対象年度:	)
公表方法:		
中長期計画(名称:	対象年度:	)
公表方法:		

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: ホームページ https://www.kumamoto-hsu.ac.jp/data/disclosure/disclosure_07.html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: ホームページ https://www.kumamoto-hsu.ac.jp/data/accreditation.html

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名
教育研究上の目的 (公表方法：ホームページ https://www.kumamoto-hsu.ac.jp/about/policy.html) (概要) 教育目標は次のとおりです。 1. 生命の尊厳と社会について洞察力を有し、自立できる人材を育てる 2. 広い視野に立ち、課題探求力と問題解決力を有する人材を育てる 3. 医療専門職と連携協働し、自己責任の果たせる人材を育てる 4. 多様な価値観を理解し、国際的な言語運用能力と情報技術をもつ人材を育てる
卒業又は修了の認定に関する方針 (公表方法：ホームページ https://www.kumamoto-hsu.ac.jp/about/policy.html) (概要) 本学が掲げる知識・技術・思慮・仁愛の四綱領と基本理念のもと、教育目標・教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）に沿った授業科目を履修し、保健科学に係る以下の基礎的素養を身につけ、各学科・専攻所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定し、「学士」の学位を授与します。 1. 仁愛に満ちた共感的態度 ・命の尊さを理解するとともに、自他の人格を尊重すること、人を思いやることができる。 2. 健康を支える知識・技術と連携協働 ・保健医療の専門的な知識と技術を備え、多様な人々と連携協働することができる。 3. 課題探求力と問題解決力 ・科学的な思考力と判断力を備えるとともに、人間と社会を取り巻く種々の問題を認識し、広い視野から主体的に課題探求及び問題解決ができる。 4. 豊かなコミュニケーション力 ・多様な価値観を尊重し、他者との豊かな信頼関係を築くコミュニケーションができる。 5. 情報活用力・論理的思考力・自己表現力 ・適切に情報を収集・活用して、母語及び国際的に通用する言語で自らの考えを表現し、伝えることができる。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：ホームページ https://www.kumamoto-hsu.ac.jp/about/policy.html) (概要) 本学が掲げる知識・技術・思慮・仁愛の四綱領と基本理念のもと、入学者受け入れ・選抜の方針（アドミッションポリシー）に基づいて入学した学生が、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）に示す素養を身につけるよう、以下の方針に沿って教育課程を編成し、実施する。 ※以下、ホームページを参照
入学者の受入れに関する方針 (公表方法：ホームページ https://www.kumamoto-hsu.ac.jp/about/policy.html) (概要) 本学が掲げる社会に求められる医療技術者へ成長するために必要な資質を、求める学生像として示すと以下ようになります。 保健科学部 ・臨床検査技師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の医療技術者を目指す、しっかりとした動機・目的意識・意欲がある人

- ・ 他者の心身の痛みや多様な価値観に共感できる人
- ・ 協調性と柔軟性をもち、他者との良好なコミュニケーションをとることができる人
- ・ 高等学校の主要科目について教科書レベルの知識と学習習慣をしっかり身に付けており、できれば、部活動やボランティア活動などを積極的に行ってきた人

※各学科の求める学生像は、ホームページを参照

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：ホームページ

<https://www.kumamoto-hsu.ac.jp/data/disclosure/organization.html>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	3 人	－					3 人
保健科学部	－	30 人	31 人	19 人	8 人	人	88 人
	－	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0 人		316 人					316 人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： https://gyoseki.acoffice.jp/khsuhp/KgApp/					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
・全学的に教育内容・方法等の改善を進めるため、FD 委員会を設置しており、授業改善アンケートと FD セミナー（研修会）を実施している。 ・授業改善アンケートは、個々の授業科目について Web ポータルシステム(Active Academy)を用いて行っている。なお、「アンケート結果」及びアンケート結果を踏まえた「授業改善計画」を教職員と学生に公開している。 ・全教員参加を旨とした FD セミナーは毎年 2 回以上開催している。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
保健科学部	340 人	379 人	111.5%	1,360 人	1,572 人	115.6%	人	人
合計	340 人	379 人	111.5%	1,360 人	1,572 人	115.6%	人	人
(備考)								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
保健科学部	342 人 (100%)	33 人 (9.6%)	301 人 (88.1%)	8 人 (2.3%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	342 人 (100%)	33 人 (9.6%)	301 人 (88.1%)	8 人 (2.3%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 【授業計画書（シラバス）の作成過程】 学務課より、次年度の科目責任担当教員へ作成を依頼する。 これを受け、教員は「シラバスセルフチェックシート」を参照しながら記載事項の要件を満たすよう作成する。 【年間の授業計画】 全学科（全専攻）全学年の「授業暦」を作成し、セメスターごとに15週の授業に加え定期試験の日程を確保し、明示している。各授業科目については「シラバス」や「実習要項」に授業計画を記載している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 【学習の成果に係る評価】 学修規程に基づき、シラバスに示す成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に単位授与又は履修認定を行っている。 【卒業の認定に関する方針の具体的な内容】 <u>保健科学部卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）</u> 教育目標・教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）に沿った授業科目を履修し、保健科学に係る以下の基礎的素養を身につけ、各学科・専攻所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定し、「学士」の学位を授与します。 1. 仁愛に満ちた共感的態度 ・命の尊さを理解するとともに、自他の人格を尊重すること、人を思いやることができる。 2. 健康を支える知識・技術と連携協働 ・保健医療の専門的な知識と技術を備え、多様な人々と連携協働することができる。 3. 課題探求力と問題解決力 ・科学的な思考力と判断力を備えるとともに、人間と社会を取り巻く種々の問題を認識し、広い視野から主体的に課題探求及び問題解決ができる。

4. 豊かなコミュニケーション力 ・多様な価値観を尊重し、他者との豊かな信頼関係を築くコミュニケーションができる。 5. 情報活用力・論理的思考力・自己表現力 ・適切に情報を収集・活用して、母語及び国際的に通用する言語で自らの考えを表現し、伝えることができる。 【卒業の認定に関する方針の適切な実施状況】 学則に則り、所定の授業科目を履修し、所定の単位を取得した者については、教授会の議を経て学長が卒業を認定している。				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
保健科学部	医学検査学科	129 単位	☒ 有・無	48 単位
	看護学科	131 単位	☒ 有・無	48 単位
	リハビリテーション学科 (理学療法学専攻)	125 単位	☒ 有・無	48 単位
	リハビリテーション学科 (作業療法学専攻)	128 単位	☒ 有・無	48 単位
	リハビリテーション学科 (言語聴覚学専攻)	129 単位	☒ 有・無	48 単位
G P Aの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：学生便覧		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：Web ポータルシステム「Active Academy」		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：ホームページ <https://www.kumamoto-hsu.ac.jp/about/campus.html>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
保健科学部	全学科	800,000 円	—	550,000 円	実験実習料、施設設備資金 ※リハビリテーション学科（理学療法学専攻）においてスポーツリハビリテーションコースの JSPQ-AT を履修する場合、1 セメスターにつき実験実習料：100,000 円を追加徴収する（1 年次後期～4 年次前期の全 6 回） ※休学者の場合、授業料等は徴収せず、在籍料：60,000 円のみ徴収する
	令和 8 年度以降入学者	850,000 円	250,000 円	550,000 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 教務委員会、共通教育センター、学生委員会、国家試験対策委員会等とその担当課職員が、全学的に採用している少人数担任制度（本学では「スモールグループ担任制」と呼ぶ）のもとで各教員と連携しながら実施している。また、アカデミックスキル全般（ライティング、プレゼンテーション、パソコン活用）を支援するための「アカデミックスキル支援センター」の設置、さらには先輩による学修・生活支援として「ピア・サポーター」制度なども取り入れている。なお、令和元年度より修学ポートフォリオの本格的な活用を始め、スモールグループ担任は、その内容をもとに学生と面談を行い、的確な修学・生活支援を行う。 【日本学生支援機構給付型奨学金の採用候補者である入学者に対する授業料等の徴収に関する取組について】 対象者：入学前に授業料等減免申請書（採用候補者決定通知のコピー添付）の提出があった者。 対 応：授業料については、減免を適用した納付依頼書を作成し、入学手続締切日までの納入をお願いしている。 ※入学金については入学後に減免額を還付
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 就職委員会、スモールグループ担任、就職・実習支援課等の連携体制、進学については、専門分野担当の教員やスモールグループ担任等による支援体制がそれぞれ機能している。また、令和元年度より修学ポートフォリオの本格的な活用を始め、スモールグループ担任は、その内容をもとに学生と面談を行い、的確な就職支援を行う。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 学生相談・修学サポートセンターにおいて、①学生相談部門、②修学支援部門、③支援学生育成部門の三つの部門を組織し、学生生活における様々な悩みや障害のある学生を含め、学修に困難を感じているすべての学生に対して、相談と支援・指導等を行い、メンタル面及びフィジカル面での学生の修学（環境）をサポートすることで、学生の学修力及び大学の学生支援力の向上に寄与している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページ https://www.kumamoto-hsu.ac.jp/data/disclosure/index.html

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	F143310111371
学校名 (〇〇大学 等)	熊本保健科学大学
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人銀杏学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。		446人（312）人	431人（309）人	一人（323）人
内 訳	第Ⅰ区分	84人	74人	
	(うち多子世帯)	(16人)	(17人)	
	第Ⅱ区分	51人	53人	
	(うち多子世帯)	(12人)	(一人)	
	第Ⅲ区分	41人	35人	
	(うち多子世帯)	(14人)	(一人)	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	79人	72人	
	区分外（多子世帯）	191人	197人	
家計急変による 支援対象者（年間）				一人（0）人
合計（年間）				464人（323）人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	17人	人	人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	0人	人	人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	人	人
計	17人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
G P A等が下位4分の1	0人	人	人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	0人	人	人
G P A等が下位4分の1	0人	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。